

みのり

学校ホームページ <http://www.kamonorin-h.nein.ed.jp>

2年生修学旅行、楽しい学びの旅を満喫!

12月5～8日の日程で、2年生の修学旅行(1～4組 関西方面、5組シンガポール)が実施されました。熱心に準備を重ねた甲斐があり、楽しい学びの旅を満喫したそうです。生徒の成長を感じます。



○1日目は、新幹線で広島へ。原爆ドーム(←)、平和祈念資料館を見学し、史実に向き合い、未来に向けて何をすべきか考えました。

○2日目は、平和ワークショップ、お好み焼き昼食の後、江田島へ(→)。民泊し、ホスト・ファミリーのお話や郷土料理に心が温まりました。



○3日目は、神戸へ。神戸港ディナークルーズ(←)は生演奏付きの豪華版。4日目は、淡路島知恵の旅プログラムで、農業の6次産業化を学びました。

◎シンガポール2日目は、シンガポール国立大学(→)で現地学生と交流。夕方には新潟県人会による講演で勇気もらいました。



◎シンガポール3日目は、最新技術の農園(←)を見学。午後からは、アラブストリート等で、文化の多様性と共生の大切さを実感しました。

国際理解教育プレゼンコンテスト最優秀賞!



12月16日(日)、朱鷺メッセで、国際理解教育プレゼンテーションコンテストが開催され、本校からFSの3人(2-1 森山萌瑛さん、2-2 川田萌音さん、2-4 坂井留菜さん)が出場しました。

3人は、「農林高校版SDGsスクールをめざして」と題して発表。SDGs(エスディーゼズ)は、Sustainable Development Goalsの略で、国連が推進する「持続可能な開発のための目標」。日本では、政府や企業、大学等で具体策に取り組んでおり、3人のプレゼンではゴミの分別や手作りミストによる暑さ対策など、学校での活動を踏まえ発表しました。実習服姿も好感を得て、見事最優秀賞を受賞しました。

3月には副賞で台湾スタディツアーに出かけるとか。これからも持続可能な社会の実現に力を尽くしてほしいものです。おめでとうございました。

日本土壌肥料学会でポスター発表優秀賞!



12月1日(土)、朱鷺メッセで、日本土壌肥料学会が開催され、ポスター発表に生物工学科2年の重泉房江さんと横木久瑠実さんが参加しました。課題研究で取り組む「炭素循環農法に関する研究」を1枚のポスターにまとめ、学会参加の研究者や学生の前で発表。糸状菌が植物の生育しやすい環境を作ることを検証するため、炭素循環農法でチンゲンサイを栽培した研究を紹介しました。

審査の結果、優秀賞を受賞。定期的に講義に来校くださる新潟大学の先生方からもお褒めの言葉をいただきました。今後の研究に期待大です。

農水版「チャレンジセミナー」意気高く！



12月26・27日、新潟県農業大学校を会場に、農水版「チャレンジセミナー」冬期講習会が行われ、4校24人の生徒が参加しました。

【小論文指導もアクティブに】 開講式の後、新潟大学農学部^{いぶり}に推薦合格した2人による合格体験談。「最初はできなくても焦らない。やればやるだけ伸びるから、絶対合格してやるという意気込みで取り組んで！」「面接は多くの先生から指導してもらうこと。でも最終的には自分の考えを貫いて！」などのアドバイス。その後は、若手教員による小論文指導と大学選びのポイント講義、専門講師による小論文対策、農業大学校副校長先生による「最近の農業情勢」の講演など、新機軸を取り入れた内容でした。

参加した生徒からは、「日頃から考える癖を付け、自分の考えを持ちたい」「受験対策だけでなく、農クワの活動を積極的に行いたい」などの感想。学ぶ青春意気高く、「やる気スイッチ」を入れる研修になりました。

青海祭収益を寄付、被災地に心を寄せて！



10月27日(土)に開催された青海祭では、クラス企画の飲食店、部・同好会企画の販売、青海祭実行委員会企画のチャリティバザーなどの

収益が、104,779円に上りました。

今年度は、青海会の発案で、「北海道胆振東部地震災害義援金」「7月豪雨災害義援金」として、日本赤十字社に寄付することになり、新旧青海会会長の高橋誉門さんと窪田大地さんが、12月19日(水)に日本赤十字社加茂支部を訪問しお渡ししました。支部長である加茂市長小池清彦様からわざわざ受け取っていただき、ねぎらいの言葉をいただきました。

また、青海祭では、JRC(青少年赤十字)部も被災地の商品を委託販売して支援活動を実施。10月には、全校で赤い羽根共同募金も行いました。

これからも、被災地に心を寄せて、息の長い活動を継続してほしいと願っています。

1学年、コース別企業見学で見聞広める！



1年生は来年度のコース選択が決まり、農業の専門科目の学習が本格化。12月7日(金)には、校外企業見学が行われ、コース毎に実際の現場

を体験してきました。

環境土木・緑地工学コースは、グリーンサーマル三条様。作物、食品製造コースは、(株)諏訪田製作所様。野菜、草花コースは、保内公園緑の相談所様。果樹、動物コースは、(株)新潟ミートプラント食肉センター様。生命情報コースは、(株)雪国まいたけ五泉バイオセンター様を見学させていただきました。

食肉センターを見学した生徒からは、「家畜が食肉になる現場を直に見られて良かった」「枝肉として吊されている姿に圧倒された」などの声。現場での体験が今後の学習を後押ししてくれました。

これからも様々な機会を通じて見聞を広め、学びを深めてほしいものです。企業の皆様に心から感謝申し上げます。

生徒の実態に関する調査の結果まとまる！

9月に実施した「生徒の実態に関する調査」(学年毎に1クラス抽出)の結果がまとまりました。詳細はLHR等で紹介の予定ですが、3点だけ紹介します。

◎家庭学習時間

全県平均が、1年1.4h、2年1.3h、3年2.1hです。本校は、1年0.8h、2年0.5h、3年0.7hと全県平均を大きく下回っています。家庭学習の習慣を付けましょう！

◎学校の授業がわかる割合

全県平均が、1年77.2%、2年77.5%、3年82.7%です。本校は、1年79.1%、2年82.5%、3年74.4%と全県平均を1・2年で上回っています。教員の授業改善は大切ですが、同時に生徒の学びに向かう姿勢が問われています。前向きに臨みましょう！

◎最近1ヶ月で読んだ本の数

「読まなかった」人の割合の全県平均が、1年39.7%、2年42.4%、3年49.5%です。本校は、1年48.8%、2年57.5%、3年46.2%と全県平均より1・2年で悪い状況です。本は知識の宝庫、人生の羅針盤です。月に1冊は読みましょう。県の調査では、読書量と授業がわかる割合に相関関係が見られるそうですよ！